

2022年6月吉日

PRESS RELEASE

川崎市岡本太郎美術館



# 小松美羽展

Miwa Komatsu Transparent Chaos : Spirituality and Mandala  
 岡本太郎に挑む——靈性とマンダラ

主催 | 川崎市岡本太郎美術館 企画協力 | Whitestone Gallery, 株式会社風土 特別協力 | 真言宗総本山 東寺  
 協賛 | 株式会社NEWART HOLDINGS 開館時間 | 9:30 ~ 17:00 (入館は16:30まで) 休館日 | 月曜日(7月18日を除く)、7月19日(火)、  
 8月12日(金) 観覧料 | 一般1,000(800)円、高・大学生・65歳以上800(640)円、中学生以下無料(○内は20名以上の団体料金)

2022年6月25日[土]—8月28日[日]

日時指定  
事前予約制

川崎市岡本太郎美術館

June 25-August 28, 2022 Taro Okamoto Museum of Art, Kawasaki

入館には事前予約が  
必要となります。詳細は  
当館HPをご覧ください。



HP <https://www.okamoto-museum.jp>  
 交通 ● 小田急線向ヶ丘遊園駅 一南口から徒歩17分 一南口から徒歩3分(5番のりば) 横口駅前(行) 環19系統  
 (1時間1~2本) 生田緑地入口 下車 徒歩8分 一南口から徒歩4分(日本民家園前下車) 徒歩5分 一北口から小  
 田急バス10分(2番のりば) 専修大学前(行) 10系統(1時間2~6本) 終点「専修大学前」下車 生田緑地西口園路(通  
 行可能期間0800~17:30)を通って徒歩6分 ● 車利用の場合は、生田緑地東口・西口駐車場(有料)をご利用ください。  
 〒216-0032 川崎市多摩区長津町7-1-5 TEL.044-990-9898

(NEXT MANDALA-魂の長野) 2021年

## 展覧会概要

小松美羽は1984年に長野県に生まれ、豊かな自然の中で生き物の生と死を間近に見てきた経験から、独自の死生観を形作ってきました。これにより日本の神々の使いや神獣、人々の祈りといった「見えない何か」からインスピレーションを得たモチーフを描くようになります。「アートは魂を癒す薬である」と考える小松にとって、作品制作は祈りと共にあり、「神事」なのです。

日本人の意識の底にある力強い生命力や美を見出し、作品にぶつけ続けた岡本太郎に、小松美羽が国境や宗教を超えた世界観で挑みます。異彩を放ち、エネルギー溢れる彼女の作品は、私たちの魂を揺り動かし、閉塞した現代社会を生きる力を与えてくれるでしょう。

No.1



小松美羽《NEXT MANDALA—魂の故郷》  
2021年 個人蔵

## 東寺（教王護国寺）奉納画特別公開！

本展では、小松美羽が東寺境内の食堂に籠って制作した《ネクストマンダラー大調和》を特別に公開します。真言宗最高法儀と言われる後七日御修法の際に用いられる両界曼荼羅図(元禄本)と同サイズのおよそ縦横各4メートル二幅一対で描かれ、儀式の行われる灌頂院の空間構成を再現したものです。この作品は、掛軸として表装後、2023年真言宗立教開宗1200年を記念して真言宗総本山「東寺」（教王護国寺京都市南区）に奉納されることになっています。

## 小松美羽 略歴

1984年長野県生まれ。

女子美術大学短期大学部卒業。現在、同大学特別招聘教授、東京藝術大学非常勤講師。

女子美術大学短期大学部在学中に銅版画作品《四十九日》が賞賛されプロへの道を切り開く。

銅版画からスタートし、近年ではアクリル画、有田焼などに制作領域を拡大。パフォーマンス性に秀でた力強い表現力で神獣をテーマとした作品を発表。

2014年、に出雲大社へ《新・風土記》を奉納。

2015年、「チェルシー・フラワー・ショー」（ロンドン）へ有田焼の狛犬作品《天地の守護獣》を出品、受賞作が大英博物館へ収蔵されるという快挙を成し遂げる。

2016年、ワールド・トレード・センターへライブペイント作品《The Origin of Life》が収蔵される。

2017、2018年、台湾、香港、日本での個展は、観客動員数とセールス双方で新記録を樹立。

2019年、台湾企業 HTC VIVE ORIGINALS と共同制作した VR 作品《祈祷=INORI》が第76回ヴェネツィア国際映画祭 VR 部門にノミネートされた。

2020年、日本テレビ「24時間テレビ43」チャリTシャツのデザインを担当。

2021年、THE NEW CONTEXT CONFERENCE 2021にて《NEXT MANDALA—魂の故郷》を発表。

No.2



小松美羽

## 開催概要

- 展覧会名 「小松美羽展 岡本太郎に挑む—霊性とマンダラ」  
 Miwa Komatsu Transparent and Chaos : Spirituality and Mandala  
 会場 川崎市岡本太郎美術館 企画展示室  
 会期 2022年6月25日(土)～2022年8月28日(日)  
 開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)  
 休館日 月曜日(7月18日を除く)、7月19日(火)、8月12日(金)  
 観覧料 一般1,000(800)円、高・大学生・65歳以上800(640)円、中学生以下無料  
 ( )内は20名以上の団体料金 **※入館には事前予約が必要です。**  
 主催 川崎市岡本太郎美術館  
 企画協力 Whitestone Gallery、株式会社風土  
 特別協力 真言宗総本山 東寺  
 協賛 株式会社 NEW ART HOLDINGS  
 協力 出雲大社 長野県長和町 黒曜石体験ミュージアム  
 株式会社乃村工藝社 株式会社箔一 株式会社宇佐美松鶴堂  
 同時開催 常設展「太郎の創造展—創らなければ、世界はあまりにも退屈だ」  
 会期5月12日(木)～8月31日(水)

## 日時指定予約制

本展の観覧には、**事前予約が必要**となります。(年間パスポート、招待券を含む)

事前予約サイトは、6月上旬頃開設予定です。詳細は、当館ホームページをご確認ください。

<https://www.taromuseum.jp>

No.3



小松美羽《ここが私のアナザースカイ 伊勢・出雲》  
2021年 作家蔵

No.4



小松美羽《動き出すエンティティ》  
2016年 個人蔵

## みどころ

### ●真言宗総本山「東寺」への奉納画を奉納前に特別公開

真言宗立教開宗 1200 年を記念して、小松美羽が奉納画《ネクストマンダラー大調和》を制作。本展では掛軸として表装される前の、約 4m×4m の超大作を初披露。本作品は表装後 2023 年 10 月 8 日に東寺に奉納予定です。

### ●出雲大社奉納画《新・風土記》を特別公開

2014 年に小松美羽が出雲大社へ奉納した《新・風土記》を特別公開します。通常、奉納作品は一般公開されることはありませんが、作家たつての希望により、今回特別に借用・公開が実現します。

### ●小松美羽の世界観を体感

展覧会場は岡本太郎《渾沌》(1962 年)を中心に据え、5 つのパートで構成。まず小松美羽の初期から中期作品。次に東寺へ奉納する《ネクストマンダラー大調和》を展示し、「聖なる空間を」表現しています。最後に、小松美羽が本展のために描いた最新作を紹介いたします。アーティスト小松美羽の世界観に浸ることのできる展示空間です。

### ※企画展は写真撮影ができます。

(動画撮影、フラッシュ撮影、三脚・自撮り棒・ジンバル等の器材の使用は不可)

## 展示構成

- 第 1 章 線描との出会い：死、自画像、エロティシズム
- 第 2 章 色彩の獲得：大いなる「目」との邂逅
- 第 3 章 開かれた「第三の目」：存在の律動
- 第 4 章 霊性とマンダラ：「大調和」の宇宙
- 第 5 章 未来形の神話たち：抽象と象徴の冒険

## 主な出品作品

岡本太郎 《渾沌》1962 年 ブロンズ

小松美羽 絵画、立体作品 約 100 点

《ネクストマンダラー大調和》2022 年、《NEXT MANDALA 一魂の故郷》2021 年、  
《天地の守護獣》2015 年、《宇宙吠え獅子》2016 年、  
《ここが私のアナザースカイ 伊勢・出雲》2021 年、《動き出すエンティティ》2016 年、  
《生死》2005 年、《煩惱の渦》2011 年、《新・風土記》2014 年

※事情により展示作品が変更される場合がございます。

その他、関連イベントは当館ホームページで随時お知らせします。

<https://www.taromuseum.jp>



「小松美羽展 岡本太郎に挑む—靈性とマンダラ」展

No.5



小松美羽

No.6



小松美羽《生死》  
2005年 作家蔵

No.7



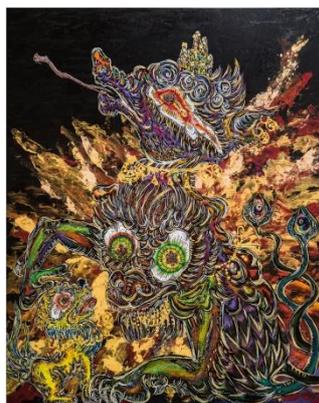
小松美羽《煩惱の渦》  
2011年 個人蔵

No.9



小松美羽《神獣—エリア13》  
2017年 個人蔵

No.10



小松美羽《Pray for Prosperity～幸せに生まれ、幸せに栄える～》2016年 個人蔵

No.11



小松美羽《炎暑厳寒の門番を守護する三頭》  
2021年 個人蔵

No.12



小松美羽《新・風土記》  
2014年 出雲大社蔵

※画像のご使用の際には、必ずキャプション・所蔵先をご明記くださいますよう、お願いいたします。

お問い合わせ

川崎市岡本太郎美術館 展覧会担当:片岡、喜多、出口 広報担当:森近([pr@taromuseum.jp](mailto:pr@taromuseum.jp))

〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区柞形 7-1-5 生田緑地内

TEL:044-900-9898 / FAX:044-900-9966

## 「小松美羽展 岡本太郎に挑む—靈性とマンダラ」展

No.1



No.2



No.3



No.4



No.5



No.6



No.7



No.9



No.10



No.11



No.12



画像のご使用の際には、必ずキャプション・所蔵先をご明記くださいますよう、お願いいたします。

No.1 小松美羽 《NEXT MANDALA—魂の故郷》

2021年 個人蔵

No.2 小松美羽

No.3 小松美羽 《ここが私のアナザースカイ 伊勢・出雲》

2021年 作家蔵

No.4 小松美羽 《動き出すエンティティ》

2016年 個人蔵

No.5 小松美羽

No.6 小松美羽 《生死》

2005年 作家蔵

No.7 小松美羽 《煩惱の渦》

2011年 個人蔵

No.9 小松美羽 《神獣—エリア13》

2017年 個人蔵

No.10 小松美羽 《Pray for Prosperity～幸せに生まれ、幸せに栄える～

2016年 個人蔵

No.11 小松美羽 《炎暑厳寒の門番を守護する三頭》

2021年 個人蔵

No.12 小松美羽 《新・風土記》

2014年 出雲大社蔵

### お問い合わせ

川崎市岡本太郎美術館 展覧会担当：片岡、喜多、出口 広報担当：森近([pr@taromuseum.jp](mailto:pr@taromuseum.jp))

〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区枡形 7-1-5 生田緑地内

TEL:044-900-9898 / FAX:044-900-9966